

令和８年度 第８回横浜市民間資金等活用事業審査委員会 議事録	
日 時	令和８年８月17日（月）10時00分～11時50分
開 催 場 所	横浜市役所18階会議室 なみき6-8
出 席 者	委員：５名（委員については、募集要項等公表時に示します。） 事業所管課等：資源循環局施設計画課 鈴木課長、二宮係長 ほか 担当事務局：行財政局ファシリティマネジメント推進課 森地課長、巽係長 ほか
欠 席 者	なし
開 催 形 態	非公開
次 第	議事 し尿等受入施設移転整備・運営事業における民間資金等の活用による公共施設等の整備等の促進に関する法律第５条に規定する特定事業の選定の検討について（審議）
議 事	【事務局】 本日は、「し尿等受入施設移転整備・運営事業」をPFI手法にて実施するにあたっての第２回目となる御審議となります。 【委員長】 委員会の運営について、事務局から説明をお願いします。 【事務局】 まずは、本日の出席状況と定足数について御報告いたします。 本日は、委員及び臨時委員皆様に御出席いただいておりますので、要綱に定める定足数に達していることを、ここで御報告いたします。 お手元の資料をご覧ください。１点だけ改めてのご確認をさせていただきます。 「４ 委員会の運営及び議事の取扱い」のところですが、本件審議にかかる一連の会議については、審議内容が公募の条件や審査項目等の情報が含まれるため、「横浜市の保有する情報の公開に関する条例」第31条第３号に該当すると考えられることから、事前承諾のとおり、「横浜市民間資金等活用事業審査委員会運営要綱」第９条第１項及び第２項に基づき非公開とする形でよろしいか、ご確認をお願いします。 【委員長】 要綱第９条により、あらためて本件に関する議事については、「非公開」とすることよろしいですか。 【各委員】 異議なし。 【委員長】 これ以降の議事について、会議を非公開とします。

【し尿等受入施設移転整備・運営事業における民間資金等の活用による公共施設等の整備等の促進に関する法律第5条に規定する特定事業の選定の検討について（審議）】

以下の内容について事業所管課から、資料により説明

- ・実施方針に関する主な質問及び回答について

【委員長】

今の説明に関連して、何か確認事項、あるいは追加的な質問等があったら発言願いたい。

（委員一同、意見なし）

【し尿等受入施設移転整備・運営事業における民間資金等の活用による公共施設等の整備等の促進に関する法律第5条に規定する特定事業の選定の検討について（審議）】

以下の内容について事業所管課から、資料により説明

- ・特定事業の選定について

【委員長】

ただいまの説明について、皆さんから自由に質問、あるいは確認事項等を発言いただければと思うが、いかがか。

【委員】

2点ある。1点目は、細かい点で、特定事業の選定（案）の2ページ目の共通の条件の割引率について、「長期国債（20年物）の金利を基に設定」ということであるが、補足資料のほうで日付が記載されていたので、いつの金利なのかは明確に出したほうがいいと思う。

それから、青のインデックスで説明いただいた一番最後の工事監理費について、「工事監理に係る費用はPSC、PFI双方で費用を計上しています」とある。VFM算定根拠のほうを見ると、2ページに従来手法で実施した場合の工事監理費は記載があるが、PFI手法で実施した場合の工事監理費の記載がない。これは建設（改修費）の中に事業者が実施する工事監理費も含めているという前提であると理解していいか。そうすると、特定事業の選定（案）の2ページ目、特定事業として実施する場合の財政負担額の主な内訳で、工事監理費と建設（改修）費を独立した項目として記載しているが、VFM算定根拠の見積りでは分けて見積もっていないので、例えば図表2-2は、建設（改修）費（事業者による工事監理費を含む）としていただくのが適切なのではないかと思います。

【事業所管課】

1点目、特定事業の選定（案）の2ページの割引率について、日付を入れるべきではないかという指摘に対して、しっかり対応させていただく。

2点目の工事監理費について、VFM算定根拠の5ページ目で、PFI側の工事監理はどこで行うのかという、整備期間中モニタリング費が工事監理に該当するところで、この費用を計上している。

【委員】

特定事業の選定（案）の2ページ目を見ると、⑦のその他費用にモニタリング費が入っている。整備期間中モニタリング費を工事監理費に充てているのであれば、整備期間中モニタリング費は工事監理費のところで括弧にして入れていただいて、⑦のその他費用を運営期間中モニタリング費にしないと整合しないと思う。少なくとも、5ページがベースであれば、それを整合させて記載していただきたい。

【事業所管課】

2ページ目の記載の仕方について、整合性が取れるように修正を行う。

【委員】

従来手法でやってもPFIでやっても調査・設計費、建設費が同じというのは解せないところがある。算出手法としてメーカーヒアリングを中心に行っているということであれば、よくそういう結果にはなるが、複数ヒアリングをすると幅が出てきたりする。それから、運営の仕方で、建設スペックで設計を少し簡素にしていることで、PFIの場合には下がる要素がある。そういう部分は本当に同じかを確認されたかどうか、ちょっと気になる。1社からもらっただけだと、同じと回答するというのはよくある話で、そこはよく吟味してほしい。本来、PFIで運営と建設を一緒にやることのメリットとして、建設スペックを合理化できる点があるのではないかというのは、交渉するときや事前に資料をもらうときによくやる話である。そういう意味で全くないということなのか。

【事業所管課】

メーカーヒアリングは複数社から行っており、結果として差が出ていない。委員がおっしゃるとおり、設計、建設、運営を一体ですることによるライフサイクルコストの低減効果は本市も期待しているところである。ただ、メーカーヒアリングの段階では引き出せず、金額として換算できなかったというのが実情である。この後、提案の評価基準の中で、本市としてはそこをしっかりと引き出せるようにしていきたい。提案の中でしっかりと引き出していく部分であると解釈している。

【委員】

複数来てくれて競争環境が整えば、その辺で期待できる点が出てくると思う。それに比べて人件費の差が大き過ぎる。資料を見たときに、その辺がアンバランスであるという印象を受けた。どうやって資料をつくったかというのはいろいろ聞かれ

そんな感じがするので、特に建設費は根拠をよく準備しておいてもらいたい。

【事業所管課】

人件費は、最終的にはメーカーヒアリングを参考にしている。

【委員】

仕事を取りたいがために、運営人数を下げて提案を持ってくることもあるので、安全性、安定性が損なわれるのではないか。そちらのファクターで点数が取れなくなる場合もある。現場としてぎりぎりなのではないかという気もする。

【委員】

人件費については私も気になっていて、今回のVFMの差額は6,000万円ぐらいで、その金額がほぼ人件費の減に相当するものであって、ほかの項目は差異がないので、そこが注目されると思っている。

【事業所管課】

組織の体制を提案の中でしっかり求めていきたい。そこで見極めていく形になるうかと思う。

【委員】

事業者の提案で、思ったほどのVFMが出ないということになるのか。

【事業所管課】

先ほど委員から指摘があった建設費の差が現在金額に換算できていない。今後、ライフサイクルコストの低減は求めていくので、それが発動される中で、事業者がコントロールしていくものと考えている。

【委員】

関連して、特定事業の選定（案）の3ページの定性的な評価、2.3(1)について、記述としては、定性的なところで、省力化と書いているので、適正な人員数の選択とか、そういうことを通じた効率の向上が書かれていて、それとの対応で言えば、黄色のインデックスの3ページで、PFIの場合、人件費の部分だけが削減されているという状況は一致していると思った。

あと、定性的な評価を書くときに、1点気になったことがある。内容はこちらでよいと思うが、もしもそれ以外に今の削減のところで対応するものがあれば書き加えるということもあるかもしれない。2.3(1)の1行目は、設計、建設（改修）及び管理運営を一括して民間事業者に委ねることで、業務効率の向上が期待できるという論理構造になっていると思う。確かに実際そうだと思うが、書き方として、よく言われている「民間活力の利用により」というところが意外とうまくできていると感じた。民間に委ねることで効率の向上が期待できるという、これまでの運営

に問題があるかのような印象も含んでしまうので、民間のノウハウを活用することで業務効率の向上が期待できるという接続になるように、少しでも調整するとよいのかなと思った。民間の資金調達力、経営ノウハウ、技術力で、資金調達の部分は定量的な評価に入ってくると思う。作業環境に配慮した施設の建設や継続的な業務改善も具体的に挙げられているが、経営ノウハウを活用したという立てつけにするとうよいと思った。

今、他の委員から指摘があったように、可能であれば建設費などの部分も、実際にここに書くかどうかは別として、何らかの期待的な言葉を入れておくとういかもしれない。そちらは、実情どうしても難しいのであれば、入れなくてもよいかと思う。

【事業所管課】

特定事業の選定（案）の2.3、定性的な評価の(1)の「民間事業者に委ねる」については、そもそも行政がこれまでやってきたことが問題と捉えられないようにしたい。維持管理性や作業環境の改善等がそのノウハウによって発動され、さらにそれが業務改善につながり、業務効率の向上にも資すると考えている。

【委員長】

効率性は定性的な評価として書いてあるが、これは定量的のほうで反映される内容ではないか。

【事業所管課】

定量的な部分については反映できていない。先ほど委員から、設計・建設費が同額になってしまっているところについて、本来、PFIをやることによって発動する効果があるのではないかという指摘をいただいているが、プラントメーカーへのヒアリングの中で、そこを具体化する定量的な評価は引き出せていない。

【委員長】

運営人数の削減という話なので、これは効率化である。それが定量的な評価につながっている。なので、なぜここで効率性が二重で出てきているのか、非常に気になるというのが1点である。

定性的なメリットは何があるかというと、結局、長期にわたる人材確保しか残ってこないのではないかというのが気になっていて、市が直接実施した場合に、この人材確保というのは難しいのか。

【事業所管課】

行政が人材を確保しようとする、採用のチャンネルが民間に比べて狭いというデメリットはあると思っている。民間に委ねる中で、担い手不足への対応については、民間のほうが柔軟性が高いと考えている。

【委員長】

それは分かるが、市で安定的な人材確保は困難であるという認識が前提にあるという理解でよろしいか。

【事業所管課】

困難になるだろうとは想定している。今時点で絶対採れないということはないが、現在、社会的にも担い手不足と言われている中で、どのようなチャンネルをうまく使えるのかというところは、民間のほうで長けていると考えている。

業務効率の向上は、運営管理費の人数の減だけにとどまらず、例えば用役費についても、現在、差が出ていない。今後、提案の中では、例えばデータを活用した業務改善のフローの中で用役費の見直しにしっかり取り組んでいただくとか、そういった効率の改善は期待できる部分と考え、この表現を入れている。

【委員長】

それは定量的な評価の中で期待できる部分である。だから、何で定性的な評価のほうに入っているのか、非常に気持ちが悪いというのが正直なところである。

もし定性的な部分で人材確保が難しいのであれば、人材確保が困難になる環境の中で、民間に委ねることによって確保しやすくなり、安定的なサービスの提供が期待できるという流れになっているほうが分かりやすいと思う。

【委員】

ここは定性と定量が互いに影響し合っている部分もあるとは思った。説明で「期待できる」という言葉を、意味を込めて使われているということが分かった。ただ、読んだ印象としては、委員長がおっしゃるように、定量的な評価のほうは資金調達イメージがしてしまうところはあるので、効率性によるコスト削減というのものはっきり書いてもいいかもしれないと思う。いずれにしても、市のほうで強調されたことが伝わっていれば、いろいろなパターンで問題はないと思う。

【委員】

先ほどおっしゃっていた「期待できる」という言葉を使ったらいいかなという気もする。今回は差が出ていないが、今後、入札を通じて事業者の努力で下がることが期待できるということが定性的な評価として読み取れるような文章を入れると、その辺の関係が少し明確になる気がする。今、メーカーが出した非常に堅い数値で資料をつくっているから、VFMがほとんど出ないようになっている。もし競争環境がなかったら入札が成立して、そのままになってしまうので、悪くてもこんなものであるという感じのつくりになっている。もうちょっと競争してもらえば、修理・保全費は下がるはずである。定量的にはそのところが表現できなかったが、定性的には期待しているというのがこの表現なのか。

【事業所管課】

そうである。

【委員】

そのように読めない。上で定量的な評価をしておいて、定性的な評価でまた定量的な話をしているのは変ではないかという質問が出ていたと思う。この数値に限らず、もう少し努力してもらえば下がる部分で、それに向けた努力をしてもらう可能性があるとか、そういう文言があれば、下のほうに定量的な話が入ってきてもおかしくない。

【事業所管課】

ライフサイクルコストの低減に資するということについては、現時点では定性的な部分でしっかり評価していく。そこは提案の中で発動していくものなので、期待をしている部分が明確になるように、文章の修正をかけさせていただければと考えている。

【委員長】

競争が起きて施設整備費等が下がることを期待するというのは分かるが、下がるという合理的な見込みが立っているかどうかのほうは私は気になる。必ずとは言わないが、普通に考えたら、今の状況下にあって、施設整備費は当然下がると見込めるのであれば、定量的な評価の中に入れ込まなければいけないのかなと思う。下がってくれるとうれしいという内容をここで書き込むのは、無茶ではないか。

【事業所管課】

一方で、長期的に修繕計画を立てていくということについては、ライフサイクルコストの低減をしっかり意識するように要求水準でうたっている。それを要求水準に入れているのであれば、その提案が出てくるものと我々は考えている。

【委員長】

どれだけ下がるかということは、今、見込んでいないのか。

【事業所管課】

見込んでいない。

【委員長】

それは見積もることさえできないのか。

【事業所管課】

今はプラントメーカーから引き出せていない。

【委員】

この文章は、最終的に「業務効率の向上が期待できる」となっているので、定量的な評価につながっているのではないかという皆さんのコメントになっていると思うが、ここでポイントなのは、施設の配置等にノウハウを生かして、効率化につながるようなものを引き出したいということなのかと思った。そういう民間のノウハウを生かした施設の配置なり建設が期待できるということにすれば、定性的な評価に寄せられると思った。

【委員長】

あまり変わらないのではないかと思う。

【委員】

結果としては、それが業務効率の改善につながる。数字よりは、ノウハウを使って、いいデザインを提案してもらうところに期待しているという言い方もあると思う。

【事業所管課】

今後、デザインの中で、例えば監視業務は、遠隔監視や自動監視等いろいろな技術を導入していくことは考えられるが、今時点でそれが具体的にどういう効果を生み出すのかについてはまだ評価ができていない。

【委員】

人件費の話とこの話はつながっていないということか。

【事業所管課】

そうである。

【委員】

委員がおっしゃったように、業務効率につなげると、そこから費用の話が連想される。今回、建物のデザイン等はそこまで変わらないかもしれないが、人材配置の適正化とか、その程度に書いておけば、間接的に業務効率の改善も期待できる。定量と定性の和集合の部分もあると思う。

先ほど、人材の確保に関しては、行政と比べると民間のほうが得意分野であるというお答えがあったが、民間の優れた経営ノウハウを活用するという中で人材配置も出てくる。書いておいて悪くはないと思うが、読み手によって、効率化につながってしまうと気になる場合もあるかもしれない。「業務効率の向上」を取ってしまっただけで「業務改善等が期待できる」としても、読んだ人は効率化だと分かる。

あと、人材の確保に関しての捉え方も納得できるので、可能だったらその部分を

調整すればよさそうな気がする。

【事業所管課】

定量的な部分を定性的な部分で踏み込んで評価しているということで、「業務効率の向上」が定性評価の中ではちょっと異色であるという指摘かと思うので、「業務改善等が期待できる」とさせていただければと思う。

冒頭、委員から指摘いただいた「民間事業者に委ねる」というところについては、管理運営を一括して民間事業者のノウハウを活用することで業務改善が期待できること、それから人材の確保については、将来的な担い手不足への対応を想定して、民間の経営ノウハウをしっかりと活用しながら安定的なサービスの提供が期待できるというように若干補足をさせていただくのはいかがか。

【委員】

蛇足かもしれないが、民間ノウハウを使うというのが1つのポイントで、もう一つは、設計、建設及び管理運営を一括するというところである。まず民間のノウハウを使うことでサービスの質を上げること、2番目に質を上げるという効果を高める仕組みも、一括発注や長期契約によって確保できているという2段階えにも読み取れる。多くのPFI事業が20年等であると思うが、そうであるならば、民間のノウハウを使うし、かつ、そのノウハウが発揮しやすい発注条件を整えることで、より期待も確実化するという方向性でいいと思う。

【委員長】

もともと、施設の移転整備なので、そんなに大きな金額のVFMが出てくることは想定していないはずである。それでも特定事業としてPFIを入れるという話になると、強調する点は必要になってくると思う。今、出している範囲の中では、例えばVFMの計算で、施設整備費は、SPC設立関連費がつくので、恐らくPFIを使ったほうが高くなる。説明だと安くなっていくように見えるが、整合性をつければ高くなってしまふ。それでもというときは、管理運営費のほうで大きなメリットがあるということを強調しなければいけない。かといって、それほど大きな差が出てきているわけではなくて、人件費に関しても微妙である。そうになると、一番主張すべきは、民間に20年間委ねることによって、多くの人材確保のチャンネルを持っている民間の手法が生かされて、安定的なサービスの提供ができるということを強調するしかないという気はしている。安定的なサービス提供は大事なことである。そういう意味では、この事業の性格から考えても人材確保は大きな課題だろうと思うので、そこを強調していくという形を取ることになると私は思う。

【事業所管課】

定性的な評価の中で、長期的な人材確保は非常に重要な行政課題と認識しているので、その部分を強調できるようにしていきたいと考えている。指摘のとおり、プラント設備の入替えて、抜本的な業務改善の提案はなかなか難しいというのが正直

	なところである。いろいろな細かい部分での改善提案はいただけているが、その部分を際立たせてしまうのはあまり得策ではないと思う。いただいた意見のとおり、人材をしっかりと確保しながら、将来的にも持続可能な体制で安定的なサービスの提供に努めていただくという部分を強調させていただければと思う。 【委員長】 ほかに何かあるか。よろしいか。 特定事業の選定について、書き換えていただく点がある。２ページ目の割引率に関して、金利について、いつの時点かを書き加えていただくのと、定性的な評価について、少し書きぶりを変えて、人材確保、安定的なサービスの提供を強調する形で修正を加えていただく。この２点の修正、加筆を前提として、特定事業の選定について、皆さん承認いただけるか。 (委員一同、了承) 【委員長】 では、２点の修正、加筆を踏まえて、案の中で修正を加えたもので承認という形で処理をさせていただければと思う。 【し尿等受入施設移転整備・運営事業における民間資金等の活用による公共施設等の整備等の促進に関する法律第５条に規定する特定事業の選定の検討について（審議）】 以下の内容について事業所管課から、資料により説明 ・落札者決定基準（案）について 以上
資 料	・横浜市民間資金等活用事業審査委員会運営要綱 ・委員名簿 ・諮問文 ・本日のスケジュール ・資料 - し尿等受入施設移転整備・運営事業 - 資料１ 実施方針等に対する質問・意見等の報告 - 資料２ 特定事業の選定（案） - 資料３ VFM算定根拠 - 資料４ 落札者決定基準（素案） ・変更箇所・新旧対照表